

れちのい多で面で代等げ來の氏目
て句作。海月ボランティア講師として
品戦たの方ま数近も、併せて「細」の七
行真重飲陸み、雁先いむをま感。中ご展もし傍郊あ時句白の海道へ海月ボ
やに船水擊し銘三戰様帆遠た。さらにはみんに解をで海洋三日ボランティア講
見脚の鐵砲身非番よを海に大笑され
港港たる富の市な質問好のい新す。受敏をと帆、八王子の輩松の丸年尾山
に大富の市な質問好のい新す。受敏をと帆、八王子の輩松の丸年尾山
地士軒鐵にさしの根船青かに棲べ
あり根船青かに棲べ
海ぎ棲べ原りみし
あや根船青かに棲べ
海ぎ棲べ原りみし
あ白氏。動私句ご々記一講。でを蕉で敏一美
げいの さた会ざも事場演現話あ以奥雄回

梅梅は
ル雨雨は尚
メ晴晴なわ
ンれれすた
へのやくし
登操帆余の
ミズンのみの
虫

シメは
ル雨は尚
メ晴はなわ
ンれすた
へのやくし
登操帆余の
ミズンのみの
虫

梅梅は
ル雨雨は尚
メ晴晴なわ
ンれれすた
へのやくし
登操帆余の
ミズンのみの
虫



らしに たそちし頃デエ〇ッ しんとはない安引人バす 士ジはでは 乗防に着口 た磨しビブン
上て来ほ。しろたまイル工ド午てど説的け場で率ースるバがへ全す。練船疫は岸ンそ。
陸約たど てん。でズスAの前実理明中れ合しがのこス同引員。見習し官いしグして、六月
の一のん 時ケはど 二自デアニののチ中習解ししばはたしガドと/orもあ^{（もちろん全員、}見習し官いしグして、六月
の月初の 楽かめ実習 二由イトトダキヤ訪生でて、な。てイラもあ^{（もちろん全員、}見習し官いしグして、六月
習けて習 二由イトトダキヤ訪生でて、な。てイラもあ^{（もちろん全員、}見習し官いしグして、六月
きての生 は来經に 二由イトトダキヤ訪生でて、な。てイラもあ^{（もちろん全員、}見習し官いしグして、六月
は格た験と 二由イトトダキヤ訪生でて、な。てイラもあ^{（もちろん全員、}見習し官いしグして、六月
別のでつ 二由イトトダキヤ訪生でて、な。てイラもあ^{（もちろん全員、}見習し官いしグして、六月
のです。米 二由イトトダキヤ訪生でて、な。てイラもあ^{（もちろん全員、}見習し官いしグして、六月
のかま国 二由イトトダキヤ訪生でて、な。てイラもあ^{（もちろん全員、}見習し官いしグして、六月
もま時はジUウ。

ごいジ総括ら競す
協とユ帆帆の技八
力はト展作要の月
(望遠鏡) おもじま
を存ルをでとで会日
をおじまし入る
いがてありま
た、お、す午い帆
しまだ当らい。後て帆
ますよるい休時新
ろ方ろみか湊ヨ
しもス中ら市ツ
く多ケののかト

高校總体がまもなく始まりま



る人方船しルもば 間夜が
次人がをしていい、と同遅あります。
回はいし、いづま船こ士くります。
は陸るて船るにすにろでます。
バをかいの時分、け実習て陸合の実習
ナ満らか保他、一生、事をしてい
マ喫らかす。を方一生涯、事
運でら。河通に上守とル組員ていも
航の上陆つり、船をるるグル組員ていも
(阪本) です。してうづがをいも
ていやは上二るい
いるり在陸グ入れ

KAI IWOMARU

